

第19回生物試料分析科学会大会

平成21年2月21-22日 名古屋国際会議場2号館

<http://abs2009.umin.jp/>

平成 21 年 3 月 吉日

学会参加の皆様へ

第 19 回生物試料分析科学会大会
大会長 岐阜医療科学大学 安 部



大会参加お礼のご挨拶

拝啓

春暖の候、皆様におかれまして益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、第 19 回大会は学生を含めまして 292 名のご参加者があり盛会裡に終えることが出来ました。これも、皆様方のご協力とご支援の賜物と感謝申し上げます。

本学会は昨年 10 月に特定非営利活動(NPO)法人として認定されました。その記念すべき最初の大会となる様に、広く市民に公開する内容も企画してまいりました。昨年秋から日本経済は急激に心配な状況下にありました。しかし、企業様からはこれまでに変わらぬご支援を頂くことができました。また、健康食品管理士認定協会共催市民フォーラム 163 名ならびに市民公開講演&パネルディスカッション 210 名多数の参加者がありました。

健康科学と医療科学分野における新しい分析技術を学ぶことをテーマにしました。いま臨床分野で話題になっている腎臓疾患の検査、ならびに遺伝子検査の特別講演、日常検査における分析機器の異常データ管理、そして企業様からの最新情報公開、どのセッションにも熱心な聴講者がありました。

長い時間かけて準備してまいりましたが、当日はぶっつけ本番、55 名のスタッフの半数は本学ならびに藤田学園の学生であります。慣れない対応で皆様にご迷惑をおかけした面を多々気づいております。にもかかわらず、皆様からは暖かい心で対応して頂いたことに感謝致しております。

末筆になりましたが、私どもにこれまで以上のご鞭撻とご教示をお願いすると共に、皆様の一層のご活躍をお祈りいたします。

敬具